

第4回社会的諸問題検討委員会議事録

日時;2005.12.29

場所;ばるるプラザ京都

出席者;織井優佳、佐藤恵子、松井健志、丸山英二、玉腰暁子

議事内容

2 サイト(滋賀大学、名古屋市立大学)の研究計画について検討した。

全体計画等に関連する事項

- ・ 調査票の保存期限
 - 3年となっているが、今後論文を作成・投稿したときに信頼性が問題となる可能性がある。保存を続けるべきではないか。スペースがないのならば、pdfファイルやマイクロフィルムとして保存する方法も考えられる。
- ・ 特許権の帰属が、「国または研究機関」となっていることについて
 - 国が特許権を持つことがありうるのか。無いならば省くほうがよいのではないか。
 - 今後、国外の研究者と共同研究を行う場合を考えると、まだ国際的なコンセンサスが得られていない段階なので、入れておいたほうがよいのではないか。
 - 中央事務局に確認をお願いしたい。
- ・ 同意書の説明者の記録について
 - 最後に説明者の所属・氏名等を記載するようになっているが、何箇所かの実態を勘案し、同意確認者(指針の用語に合わせれば「同意を受けた者」)が適切ではないか。
 - 最初に説明者の名前を書くようになっているが、例えば集団に説明を行い、かつある1日の説明者が決まっているような場合には、きちんと記録をとっておくことで、この部分を省略することは可能ではないか。
- ・ 上記の修正を行うのであれば、今回のほかのものとあわせて進めてほしい。

研究モニタリング

- ・ 佐賀大学、愛知県がんセンターのモニタリング日程調整を行った。について

その他

- ・ 調査票の最終ページ(裏表紙)は白紙とすることを確認してほしい。
- ・ 各サイトの研究計画書を出す際に、その概要や流れがわかる資料をつけてもらえると検討しやすいので、お願いしたい。
- ・ News Letterの発行について、中央事務局に検討をお願いしたい(HPに通信が掲載され始めたが、J-MICC対象者の年齢層は必ずしもインターネットユーザーとは限らない)。